

平成24年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

今月のトピックス

イネミズゾウムシ (水稻)

学名 : *Lissorhoptrus oryzophilus*

葉を食害する成虫



生態と被害

イネミズゾウムシは、北アメリカ原産で、朝鮮半島、中国東部、台湾に分布し、本邦では国内全域に生息する。

成虫の体長は約3mm。体色は全体的に灰褐色をおび、背中の中央部に不整形の黒い斑紋がある。両性生殖を行う個体群と単為生殖を行う個体群があり、本邦に生息するものは単為生殖を行う個体群である。

沖縄では年に2世代を経過する。越冬成虫が移植後のイネ葉を食害し、葉脈に沿って幅1mm、長さ1～数cmの線状の食痕を残す。幼虫は根を食害し、葉の伸長阻害や分げつ抑制の原因となる。イネ科のほかに、カヤツリグサ科、ツクサ科などにも寄生する。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>